

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【公開番号】特開2007-44370(P2007-44370A)

【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2005-233642(P2005-233642)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口への遊技球の入球を契機に、前記通常遊技よりも遊技者にとって有利な複数種類の特別遊技状態のいずれか一種に移行させるか否かを抽選により決定する抽選手段と、
前記複数種類の特別遊技状態において作動する可変入賞装置と、
を備えた遊技機において、

前記複数種類の特別遊技状態は、前記特別遊技状態の終了後に前記抽選手段における前記複数種類の特別遊技状態の少なくとも一種への移行確率が前記通常遊技状態より高確率である確率変動遊技状態を伴う第 1 確率変動付特別遊技状態と、前記確率変動遊技状態を伴う第 2 確率変動付特別遊技状態とを含み、

上記可変入賞装置として、前記第 1 確率変動付特別遊技状態及び前記第 2 確率変動付特別遊技状態のうち前記第 1 確率変動付特別遊技状態のみにおいて遊技球が入球可能な主可変入賞装置と、前記第 2 確率変動付特別遊技状態において遊技球が入球可能であり、入球可能な時間が前記第 1 確率変動付特別遊技状態における前記主可変入賞装置より短い副可変入賞装置とを備え、

前記副可変入賞装置の開口近傍に設けられ、遊技球が前記開口に入球するのを許容する状態と前記開口に遊技球が入球するのを阻止する状態との間の状態変更を行う誘導阻止手段を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

複数の図柄を変動表示し、前記抽選手段による抽選結果に対応付けられた図柄の組合せを確定表示する第 1 表示手段を更に含み、

前記第 1 表示手段は、前記抽選手段による前記第 1 確率変動付特別遊技状態への移行の決定に応じて前記複数の図柄による図柄の組合せのうち高秩序の図柄の組合せを確定表示し、前記抽選手段による前記第 2 確率変動付特別遊技状態への移行の決定に応じて前記複数の図柄による図柄の組合せのうち前記高秩序の図柄の組合せより秩序性の低い低秩序の図柄の組合せを確定表示する請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記誘導阻止手段が風車と前記風車を移動させる駆動装置とを備え、

前記誘導阻止手段が、前記第 2 確率変動付特別遊技状態において、前記駆動装置により

前記風車の支持軸を変位させて、遊技球を前記開口に誘導する請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。